

コミュニティ 壬生野

第8号

H. 16. 12. 15 発行



今回の題字
壬生野小学校6年
笑顔がいっぱい
上野 有香さん
(川東)

ヤマギシだより

12月26日から29日まで子ども楽園
村を開催します。小中学生対象の生活体
験子ども合宿です。

お問い合わせ先 電話4515550



壬生野クリーン作戦の実施

12月26日

気持ちよくお正月を迎えよう！



何かと忙しい年末ですが、まちづく
り協議会による環境美化を予定して
います。気持ちよくお正月を迎えるた
めに、子どもから大人まで多数の参加
をお願いします。

【日 時】 十二月二十六日(日)
午前九時～十時
【集合場所】 各地区の集会所

詳しい内容については追って案内を各戸
に配布します。

行政だより

壬生野地域まちづくり協議会事務所の設置

壬生野地域まちづくり協議会
の活動拠点は、「壬生の里」2階
の会議室です。協議会の事務、会
議、情報発信、相談窓口等、地域
のみなさまが気軽に立ち寄れて
ご利用いただくことができるよ
うに、机やイス、テレビ、パソコ
ン、複写機、電話等、備品の準備
が着々と進められています。又、
拠点の運営方法等については、現
在まちづくり協議会の拠点設置
検討委員会により検討が行われて



います。事務所開きは新年
早々になりそうですが、地域
のみなさまが愛着を感じ、日常
的にご利用いただけることでし
ょう。



「伊賀市自治基本条例」が12月市議会で提案されます



近年、地方分権の流れや市町村合
併をきっかけに「私たちの地域は、
私たちが責任を持って自らが治め
ていこう」という住民主体の考えが
重視されてきています。そこで、伊
賀市においても市民及び市のそれ
ぞれの権利や責務を明確にし、住民
自治の仕組みや制度として定める
「伊賀市自治基本条例」が制定され
ようとしています。この条例は、全
ての条例や規則等の最高規範とし
て位置付けられ、いわゆる伊賀市に
おける憲法としての役割を果たす
こととなります。条例は第1章～第

7章にわたり、第4章に「住民自治
協議会」の設置に関する具体的な内
容が明記されています。これによっ
て、「住民自治協議会」の存在が明
確になり、重要性が示されていま
す。
壬生野地域まちづくり計画は「伊
賀市自治基本条例」の制定によっ
て、さまざまな地域課題への取り組
みが行われていくことになりま
す。
※「住民自治協議会」とは、まちづくり
協議会のことであり、この協議会の
設置により地域まちづくり計画が策
定され、実行されていきます。

【健康・福祉の推進部会より】

私たち、壬生野まちづくり
協議会の「健康・福祉の推進」
計画策定部会では部会発足
後、現在まで、健康福祉の地
域における実態の把握、又ま
ちづくりにおいて自分たちが
何をすべきかについて議論
してまいりました結果、まち
づくり中間報告を住民の皆様
に発表できたことをうれしく
思っております。

福祉、健康については現在
でも地域、行政、ボランティア
などの、いろいろな組織で、
いろいろな活動が行われてい
ます。

その中で私たちの部会とし
て、高齢者支援体制の充実、
子育て支援体制の充実、地域
福祉拠点の創出、以上の3つ
の項目に重点を絞り計画を策
定しました。

壬生野のまちづくりは今始
まったばかりだと思います。
中間報告の中で報告させてい
ただいた課題はこれからのも
ちづくりにおける活動のほん
の一部だと思います。

伊賀市となった今、壬生野
まちづくりの地域での生活の
中で役割が増してくると思
います。まちづくりは住民全
員が作る組織として、みんな
が考え、みんなが行動する。
そのような活動ができればと
思います。

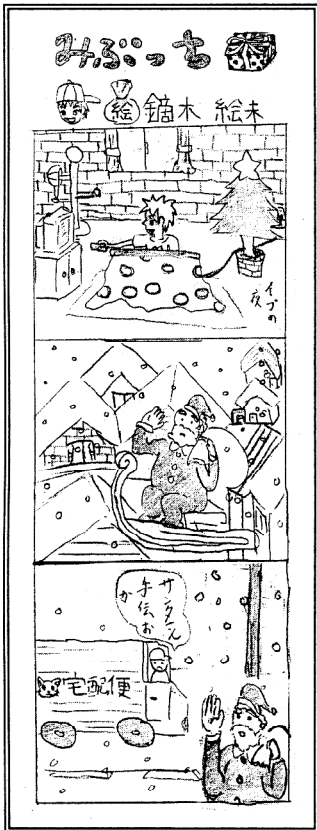
健康・福祉の推進部会
リーダー 金谷 聡己



「まちづくり協議会」の今

活動目録

- ・十一月一日(月) 第五回役員会(十一月の予定について)
- ・十一月三日(水) もみじまつり
白藤保勝会の協力により初参加。青空市場(野菜・卵・バラ等)を出店。好評を得る。出品いただいたヤマギシ様、岡本様、山岡様、澤野様、山下様他、皆様のご支援に感謝申し上げます。
- ・十一月七日(日) 苗木の提供を受ける(山桜・もみじ各五十本)
NPO法人グランドワーク東海の活動により、中部電力柳井様より苗木が送られ、里山クラブ(山畑)の協力により、滝ノ口に植えてもらいました。
- ・十一月八日(月) 津地域より九名が来訪
津地区市町村合併を考える懇談会(ケント)の森会長他が来訪。協議会の立ち上げまでの経過など熱心な懇談となる。今後の交流へと繋がった。
- ・十一月十五日(月) 第一部会(協議会のあり様について)
第四回ダイジェスト版編集小委員会
- ・十一月十七日(水) 第一部会と事務局懇談
- ・十一月十八日(木) 第六回役員会(全体会について)
- ・十一月十九日(金) 第三回まちづくり計画編集委員会
- ・十一月二十六日(金) 第十回運営委員会
- ・第四回全体会
タウンミーティング・パブリックコメント・編集委員会等の意見を取り入れて、策定版が承認される。規約の改正等、区長会全員の役員会への参加で今後進められる。年末クリーン作戦実施に向けた住民への周知、協力を呼びかけていくこと等が話し合われた。
- ・十二月九日(木) 広報部会(広報8号編集)
- ・十二月十日(金) 第七回役員会(クリーン作戦)
- ・十二月十五日(水) 第一部会と役員会懇談(規約改正他)
※まちづくり計画策定版とダイジェスト版の発行(各戸配布)は、規約改正後、十七年一月から二月頃を予定しています。



青葉会婦人部について

私は、平成9年7月に川西青葉台に奈良県大和郡山部市より移ってまいりました。住み慣れてくるうちに、今度、桜が咲くころに「集まるうよ」と声をかけてくださった婦人がいました。そして、それから、又、「集まるうよ」との声のかけあいがありました。

丁度、集会所が建てられたのをきっかけに「高齢者クラブ」が青葉

婦人会について

岡森

婦人会がなくなる。この話を耳にして、私はびっくりしました。この土地で育った私にとって、婦人会はあらゆる面で勉強の場でもありました。

初めて婦人会に入会させていただいたときは、私の母と同年代の方が会長をしてくださっていました。毎月の仏前修養会、手芸教室、親睦旅行、敬老会、盆踊り大会、物資舞旋等、多くの行事を消化する行動力と行き届いた心使いに感心させられました。

行事や後援会に参加させていただいたとき、沢山の人たちの交流もありました。他所から嫁いで来た人たちにとって、地域の活動に参加する唯一の場であったかと思えます。先輩の方々が、地域のために、地域と共に一生懸命守り、受け継ぎ、伝えてくださった伝統ある婦人会、その間変な時代もあったかと思えます。なくしてしまっただけに申し訳ない気持ちです。

敬美(山畑)

女性参画社会を目指してを努力目標に活動してきました。女性の社会進出により女性の地位も認められ、管理職にも起用されるようになりました。行政、地区の職員が嫌だとか、仕方なく参加するのではなく、参加する事によって自分を磨く良いチャンスだと思えます。これも婦人会があつてこそだと思います。

女性は神様から授けられた子どもを出産できる偉大な力を持っています。育児家事、仕事等大変ですが、適応性に富む能力も兼ね備えています。

いがまち女性センター、壬生の里等を拠点として、地域とのコミュニケーションを密にし、婦人会に変わる女性のグループを立ち上げていただきたいと思えます。人が輝き、地域が輝くまちづくりにつながるのではないのでしょうか。

今、女性の力が期待されています。

塚本 正子(川西青葉台)

私として立ち上がってしまいましたので、「青葉会婦人部」として立ち上げることにになり、1年半が経ちました。いつも集まってくる人も7、8名くらいと少人数なんです。が、勤めている人もあり、久しぶりに会うので、いろいろな事を喋り合っています。今度は、壮年部をとの声がありますので、高齢者部に入るまでの壮年の方々の交わり

りもありますようにエールを送ります。

いつか曾野綾子さんの「神の活れた手」の中で、「(人間社会は)オケストラですよ、ソロじゃないんだ」と読みました。子育て中の若い方々、子育ての終わった年代、高齢になられた方々、そして、壮年の部と1つ1つのグループが1つの輪になることもあり、青葉台がひとつのまちとして、交わりが深まっていくことを心より願っております。

募集コーナー

まちづくり協議会ではみなさまからのご意見・ご提案・ご要望を募集しています。是非、たくさんの方のご意見等をお聞かせください。(ご意見等は下記の連絡先か、メールまで)

◆壬生野地域自治推進グループ事務局◆
E-mail:mibuno@town.iga.mie.jp

- ◆連絡先◆
- | | | | |
|-----------|---------|------------|---------|
| 北村武久(山畑) | 45-2931 | 澤野憲太郎(川東) | 45-3326 |
| 福西信也(川西) | 45-2775 | 高橋久男(西之澤) | 45-2496 |
| 館忠蔵(希望ヶ丘) | 45-2656 | 谷口靖(青葉台) | 45-7231 |
| 数田勇(春日丘) | 45-4583 | 北大路順信(山岸会) | 45-2531 |



あとがき

原稿を寄せてくださった皆さんには、毎回時間のないなか無理をお願いしています。コミュニティ壬生野がたくさんの方の目にとまるのは、多くの方からの投稿があればこそと思っています。

現在、広報の編集に携わっていただける方を募集しています。詳しくは募集コーナーの連絡先までお問い合わせください。

尚、紙面の都合上、今回は「このひと知ってる!」コーナーと「このはこ」はお休みさせていただきます。